2学期を振り返る

平成25年2月1日

総務部

<年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等>

1. 式典の円滑な運営を目指す。
 - ・始業式、芸術鑑賞会等、円滑な運営ができた。生徒の式典に対するマナーも向上してきている。
2. PTA活動が円滑に運営されることを積極的に支援する。
 - ・サポーター制度の導入により、行事への参加者が増え、PTA活動が活性化してきた。
 - ・各委員長が自発的に発案、行動してくれるようになってきた。

<活動内容>

- ・役員会、理事会、文化祭、体育祭、登下校指導、地区PTA発表
3. 学校案内・要覧等の資料を創意工夫して作成する。

<課題、3学期に向けて>

- ・卒業式の立案をし、円滑に実施する。
- ・式典に対する生徒のマナー向上をさらに働きかける。
- ・理事会において、行事予定を自発的に発案し、行動予定を立ててもらう。
- ・本年度の反省を踏まえ、来年度の積極的な活動予定を考えてもらう。(サポーター制度)

教務部

1. 基礎基本の学力の定着・向上とわかる授業の実現
2. 個に即した学習・教科指導の実現
3. 業務内容の円滑化
4. 業務内容の明文化

<年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等>

- ・教科書選定の仕事は初めて担当したが、なんとか終わることができた。
- ・文化祭、体育祭、修学旅行等、行事の多い時期であったが、スムーズに時間割変更等を行うことができた。
- ・考査日程や監督表の作成など、予定どおりに作成できた。また、平等に割り振ることができた。うまく考査をまわすことができてよかった。
- ・学校説明会は、職員の協力を得て、特に大きなトラブルもなく行うことができた。
- ・授業時間の確保に関しては、比較的予定どおりにできた。係もスムーズに業務に取り組めた。
- ・様々な行事、各種業務について、協力して進めることができた。
- ・福祉教養科の授業時数の確保と正確なカウントを行うことができた。

<課題、3学期に向けて>

- ・入試については、慎重に丁寧に対応したい。しかし、どんなに慎重にしても、予想外のこと（インフルエンザ、天候など）が起り得るので、十分に事前準備をすることが必要であると思われる。
- ・学校説明会等、資料がたくさんある場合や3学期の学検等、早めの準備が必要。
- ・学校説明会は、参加人数が多いため、在り方を検討すべき。アンケート結果から介護実習室実施は好評だ。
- ・平成25年度時間割作成にできるだけ早く余裕をもって取り組みたい。
- ・内規の見直しは継続して行う。
- ・成績処理でとまどってしまうことがあった。
- ・答案返却や考査時価割の予定は、早めに案を提示する。成績等の個人情報の取り扱いに特に注意し、信頼を失わないようにする。
- ・転学処理等の迅速化を目指したい。
- ・11月の面談については検討課題である。
- ・一つの仕事に対して、一人で負担することが多かったように思う。責任も同じように分担してもらえば、プレッシャーやミスが減ると感じた。そのためには、分担をうまく行い、責任をもちやりとげること。若手もベテランも、公平に、同じ分、仕事と責任を負うことが大切だと思う。
- ・仕事は効率的に、ミスのないよう、確認作業を重視する。
- ・まだまだ一人で不安なことやわからないことが多いので、どんどん覚えていきたい。

進路指導部

<年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等>

1. 「見える進路」(生徒も職員も見通しをもって活動できる進路)を目指す。
 - ・ 1. 2年生についてはそれぞれ専門学校等から講師を招いて説明会を行うことができ、それぞれ進路について意識づけをすることができたと考えている。どちらの学年もこちらが思っていた以上に生徒は積極的に参加していたようで、講師の先生方からもお褒めの言葉を頂戴した。
 - ・ 3年生については、当初就職が予想以上に好調で、特に学校斡旋を希望する生徒の85%がすでに内定を得ている。特に今年は昨年内定を取ることができなかった企業や一部上場の企業からの内定を得ることができた。
2. 「あきらめない進路」(最後まで支援する進路)を目指す
 - ・ 就職希望者に対しては12月以降も個別に働きかけを継続しており、またハローワークと連携して、就職希望生徒の情報を各企業に提示するなどしたが、現在応募した生徒は1名である。また進学希望者に対しては、面接や願書の記入について個別の指導を行い、進路指導部や3学年以外の先生方にもご協力をいただき、かなり手厚くできたのではないかと思う。
3. 社会人としてふさわしい学力・態度の指導を一層充実させる
 - ・ 9月に1. 2年生に対して行った調査を現在検討しているが、非常に心許ない状況である。今年度は3年生から就職者対象の補習を4月から行ったが、1月以降2年生の就職希望者補習を考えている。

<課題、3学期に向けて>

自分自身の進路を自分で決めるという意識が欠如していたり、そのようなことができない生徒が昨年以上に多く見受けられた。この傾向は今後も続くものと考えられるので、来年以降教員側の意識改革も含めて指導をすることが肝要であると思われる。

生徒指導部

1. 教員の指導に従う体制づくり
2. 時間やルールを守る
3. 良識ある生活態度、礼儀

<年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等>

- ・ 文化祭を第2週目で実施したが、無事終了することができた。体育祭も同様、熱中症の心配もなく行うことができた。
- ・ 制服移行期間を5月と10月としたが、円滑に実施できた。

<課題、3学期に向けて>

- ・ 制服の着こなし、指定セーターやカーディガンの着用。
- ・ 自転車通学等、路面凍結、暗くなるため通学の安全確保等、事故の未然防止に努める。

環境健康部

1. 校舎内外の美化に努め、安心・安全な学習環境をつくる。
2. 美化委員会活動を活性化させ、全校生徒に美化意識の向上を図る。
3. 防災訓練をとおして、防災や危機管理についての意識を高める。
4. 健康診断を確実に実施し、保健指導、健康保持の指導を充実する。
5. 組織的な取組により、教育相談機能の向上を図る。

<年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等>

- ・ 文化祭時の机、イス等の備品異動がスムーズに行われて、破損なく無事終了することができた。
- ・ 担任の先生方からの紹介で、教育相談が機能した。
- ・ 職員研修(教育相談)は、全体研修から有志の研修の機会を持つことができた。
- ・ 学生支援機構の奨学金は、募集、説明、申込み入力をつつがなく行い、不備がなく21名内定した。
- ・ 時間をみつけて、連絡通路、学年の廊下、教室等の整備を行った。

<課題、3学期に向けて>

- ・ ストープ管理を徹底する。
- ・ 2, 3年のワックスがけ作業要項を作成する、
- ・ 教室整備をしてから、教室を引き渡す。
- ・ 教育相談の有志研修会開催を検討する。

図書情報部

1. 様々な場面での生徒への読書の指導と、教科に結びついた利用しやすい図書館を目指す。
2. 視聴覚県警の施設、設備の拡充を目指す。
3. 情報関係の内規の整備、及び、情報機器の把握と整備を目指す。

(図書関係)

<年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等>

<図書委員会関係>

- ◆7/23 (月) ~31 (火) 夏休み中の開館 担当当番：1年図書委員
- ◆8/1 (水) 千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会第6地区図書委員会研修会参加
会場：県立行徳高校 参加：生徒2名
- ◆9/14, 15 向陽祭参加
しかけ入り展示作品“ゆけゆけ、しずくのぼうけん！” (絵本『しずくのぼうけん』より)
- ◆10/5 (金) 松戸市立東部小学校図書委員会活動参加 参加生徒：5名
- ◆12/14 (金) 図書委員施設見学研修会および選書研修会
研修場所：柏高島屋ステーションモールS館「WING BOOK CENTER」(西口アサノ)
参加生徒：6名

<図書館関係>

- 8/1 (水) 学校開放講座2日目「絵本の読み聞かせとマジックスクリーンを作ろう」
- 8/17 (金) 平成24年度 公立図書館と学校の連携を図るための研修会で発表
- 11/5 (水) 松戸市立東部小学校保護者対象「絵本の読み聞かせ講習会」
- 11/21 (火) 県立我孫子東高校 職員2名が 図書館見学のため来校
- 12/14 (金) 図書係職員選書研修会 柏高島屋ステーションモールS館「WING BOOK CENTER」

<課題、3学期に向けて>

- ・『図書館報 第2号』の発行準備を行う。
- ・「催促状」の準備について：忙しくて1, 2学期中はあまり行えなかった未返却者への「催促状」をこまめに出し、紛失等の事故防止、次年度にまたがる催促本が出ないようにしたい。

(情報関係)

<年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等>

- ・生徒、職員の個人データの一元化に向けての準備を行っている。
- ・成績処理など、校内の情報システムの構築中である。
- ・小体育館のアンプが、体育館のものと同じになったので都合がよい。
- ・校内研修を予定どおり行った。

<課題、3学期に向けて>

- ・プリンタ等のトナーの消耗品を、どこが窓口で購入するのかわをはっきりすべき。とりあえず、学年室のものは図書情報部で把握するようにしたが、他はその所属で注文しているようであるが、予算の関係で購入できていない。
- ・来年度に向けての準備 (ホームページ, 成績処理, 学検処理等)

1学年

「向学・自立・共生」の精神のもと、「知、徳、体」の調和のとれた誠実な生徒を育成する。

<年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等>

- ・体育、その他の移動教室等で盗難の報告がなかった。また、いじめの報告もされていない。
- ・文化祭等の行事は、目立つもめ事もなく終了できた。
- ・職員から声かけをしなくても、自ら生徒会に立候補する者が5名も出たこと。

<課題、3学期に向けて>

- ・移動教室が遅れるなど、授業に対する姿勢が少しずつくずれてきているので、改善させる。
- ・生徒を何とか進級できるよう力を注ぎたい。

2学年

「向学・自立・共生」の精神のもと、「知、徳、体」の調和のとれた誠実な生徒を育成する。

<1学期に達成できたこと、よかったこと等>

- ・文化祭では、それぞれのクラスが工夫した出し物に取り組んでいた。
- ・体育祭では、団体種目に一生懸命取り組んでいた。特にチームジャンプの回数が去年より大幅にアップしたことはクラスで取り組む意識のあらわれと思われる。
- ・沖縄への修学旅行は、生徒の意欲も大きく、平和学習・体験学習によく取り組み、生徒にとっても教員にとっても、たいへん充実した思い出深いものとなった。
- ・世界史・現代文・家庭科の授業で事前学習に取り組んだことが、修学旅行の学びをより充実したものにしてくれた。授業担当の先生方に感謝したい。
- ・平和学習では、元ひめゆり学徒隊の方の講話に聞き入り、資料館の展示資料を真剣に見学していた姿を見て、自慢しなくなった。
- ・体験学習では、海の体験学習と沖縄料理体験・黒糖作り体験に取り組み、沖縄を味わうことができた。
- ・進路学習では、分野別ガイダンスをとおして、進路目標を具体的に考える第一歩とした。

<年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等>

- ・進級及び進路実現に向けた取り組みづくり。特に成績不振生徒の、進級に向けた取り組みづくり。
- ・授業開始時間を守り、きちんと礼をして授業が始まり、終わる形を確立したい。
- ・時間を守り、しっかりしたあいさつができることは生徒の進路実現に向けた土台作りになると考える。
- ・教室環境を整備し、授業に集中できる環境づくりを励行する。
- ・欠席・遅刻をしない（減らす）意識を生徒に持たせる。

3学年

「向学・自立・共生」の精神のもと、将来の進路を決定し、自信に満ちた姿で卒業式を迎えられる生徒を育てる。

<年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等>

- ・卒業が近づくに連れて、集会などの時、服装を整えるのにあまり時間がかからなくなってきた。しかし、一方で、どんどんだらけていく生徒もいるので注意が必要である。粘り強い指導の大切さを感じた。
- ・継続的な生活指導を重ねることにより、生活指導面での理解が進み、反発したり指導に時間のかかる生徒は見られなくなった。3年生として成長したこと、進路活動など自分の将来を考える生徒が多くなったことなども関係していると思われる。
- ・2学期後半、出席状況が改善したり、学習への取組がよくなったりした生徒かみられた。
- ・学年、進路指導部職員が、粘り強く進路指導したため、生徒の進路先内定率が概ね良好である。
- ・就職や進学に何度か失敗しても、教員の手厚い指導によって合格できた生徒が何人もいたことがよかった。

<課題、3学期に向けて>

- ・3学期は高校生活の最後としての思い出作りを兼ねて、学年球技大会を予定している。これまでも生徒から球技大会をやりたいという声があったので、生徒主体に楽しくできるようなものにしたい。
- ・卒業まで残り少ないが、出欠面や成績面で危ぶまれる生徒がいるので、頑張らせることにより、全員卒業させたい。
- ・進路未定の生徒に対し、継続的に粘り強く進路指導を続けていく。
- ・生徒が事故なく卒業式を迎えられるように、3学期と自宅学習期間の指導を行っていきたい。